

寒さと乾燥が増し、風邪が流行する時期になってきました。

災害時の避難の際には、避難所が過密状態になることを防ぐために車両避難(車中泊)や安全な親戚宅、友人宅等への早めの避難も検討しておきましょう。

■分散避難の検討(感染症対策)

「避難」とは、「難」を「避」けることであり、新型コロナウイルス感染症に感染するリスクを少しでも減らすため、避難所以外への避難も検討しておきましょう。

(避難場所の選択例)

- 安全な親戚宅、友人宅等への避難

- 洪水ハザードマップを確認したうえでの垂直避難(在宅避難)

※浸水によりご自宅が孤立してしまう場合がある為、1週間程度の食料の備蓄を心がけてください。

- 安全な場所での車両避難(車中泊)

※車両避難をする場合には、エコノミークラス症候群を予防するため、できる限り着圧ソックスや弾性ストッキングなどを準備してください。

- 安全なホテル、宿泊施設等への避難

※町内には宿泊施設がないため、町外への移動になります。早めの行動をお願いします。

- 指定避難所への避難

※指定避難所では、感染症対策として、1人あたり4㎡のスペース及び1mの通路を確保することとしています。パーティションの数には限りがあるため、避難所でのスペースは、パーティションがない場合を想定しています。そのため、簡易テント等をお持ちの方は、避難に支障のない範囲でご持参いただいても構いません。

■備蓄品のローリングストック

備蓄品(食料)の賞味期限を定期的を確認し、消費と補充を繰り返しながら、非常時に備えましょう。

買ってくる、置いておく、消費するといったことを繰り返しながら備えることが、ローリングストック方式です。



防災行政無線テレホンサービス (自動音声応答装置)

0180 (99) 2121

上記の番号にお電話いただくと、防災行政無線の放送内容を音声メッセージで確認できます。